



2023年国際試合の長崎県開催について【要望】

長崎県のサッカー競技の普及・発展及び長崎県政の推進につきまして、日頃から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

長崎県は、豊かな自然、美しい景観、多彩な食材、食文化に恵まれており、「明治日本の産業革命遺産」と「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の2つの世界遺産や、「国境の島 壱岐・対馬・五島」などの4つの日本遺産をはじめとする、古くからの海外との交流によって培われた特色ある歴史や文化を有しております。

一方、長崎県にはプロのサッカーチームである「V・ファーレン長崎」があることで、県民が一体となってスポーツを応援する機運が醸成されており、さらに、2024年には新スタジアムが完成し、新たなスポーツの拠点が生まれることから、長崎県としましては、長年にわたって築いてきた海外との関係を大切にしながら、本県の活力に結びつくようなスポーツ交流をさらに大きく発展させたいと考えております。

去る2019年12月に、一般社団法人長崎県サッカー協会が主管いたしました、U-22日本代表とU-22ジャマイカ代表との国際試合は、スタジアムが埋め尽くされるほどの盛り上がりを見せたところです。

スポーツの国際試合開催は、世界で活躍するトップ選手のプレーを間近で感じる事ができるまたとない機会であり、将来を担う子ども達や県民の皆様に大きな夢や感動を与えるものと考えております。

長崎県及び一般社団法人長崎県サッカー協会としましては、再び、本県にサッカーの国際試合を誘致したいと考えており、2023年の長崎県開催について、格別のご配慮を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和4年10月20日

長崎県知事

大石 賢吾



一般社団法人 長崎県サッカー協会 会長

殿村 育生

